

## ■ ご質問等の提出について

### 1. ご記入いただく内容

- ①お住まいの場所（三原台1・2・3・4丁）
- ②お名前
- ③ご連絡先（電話番号、電子メールアドレス等）
- ④ご質問等（自由記述）

（ご参考）

1. ご質問等の内容をご確認させていただく場合やご回答の際に必要となりますので、お名前、ご連絡先のご記入にご協力をお願いします。
2. ご記入いただいた個人情報は、「堺市個人情報保護条例」に基づき適切に取扱うとともに、ご質問の内容の確認とご回答以外には利用いたしません。
3. ご提出いただく様式は自由です。

### 2. 提出方法

次のいずれかの方法で、**直接堺市へご提出ください。**

㊦ファックス ㊩電子メール ㊵郵送

#### ■提出先

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

堺市 建設局 ニュータウン地域再生室

電話：072-228-7530（直通）／ファックス：072-228-6824

電子メール：[nisai@city.sakai.lg.jp](mailto:nisai@city.sakai.lg.jp)

**※4月30日（木曜）までにご提出ください。**

#### ■問合せ先

○本資料全般に関すること

建設局 ニュータウン地域再生室

☎072-228-7530（直通）

○プレイロットの整備に関すること

建設局 公園緑地部 泉ヶ丘公園事務所

☎072-291-1800（直通）

○健康の取組に関すること

健康福祉局 健康部 健康医療推進課

☎072-222-9936（直通）

## 三原台校区における 公園・緑地等の整備プラン案

～公園からはじまる『健幸』づくり～



三原台校区では、「公園からはじまる『健幸』づくり」をコンセプトに、公園を活かして、健康運動や子育て、遊び、交流ができる取組を進めてまいります。

このたび、三原台校区の公園・緑地等の**整備プラン案**を作成しました。

今後、校区にお住まいの皆さまの**お声をお聞きしながら**、整備を進めてまいります。

令和2年4月 堺市

# ～公園からはじまる『健幸』づくり～

三原台校区における公園や緑地、池などを活用して、子育てや遊びに加え、健康や生きがいを感じることができる「健幸」づくりの拠点を整備します。

## ■ 整備における5つの視点

### 健康運動・スポーツ

健康づくり、生きがいづくりに  
自ら取組み、学ぶ空間

### 子育て・子育て

子どもが健やかに育つ遊具  
親子が安心して遊び・憩える空間

### 安全・安心

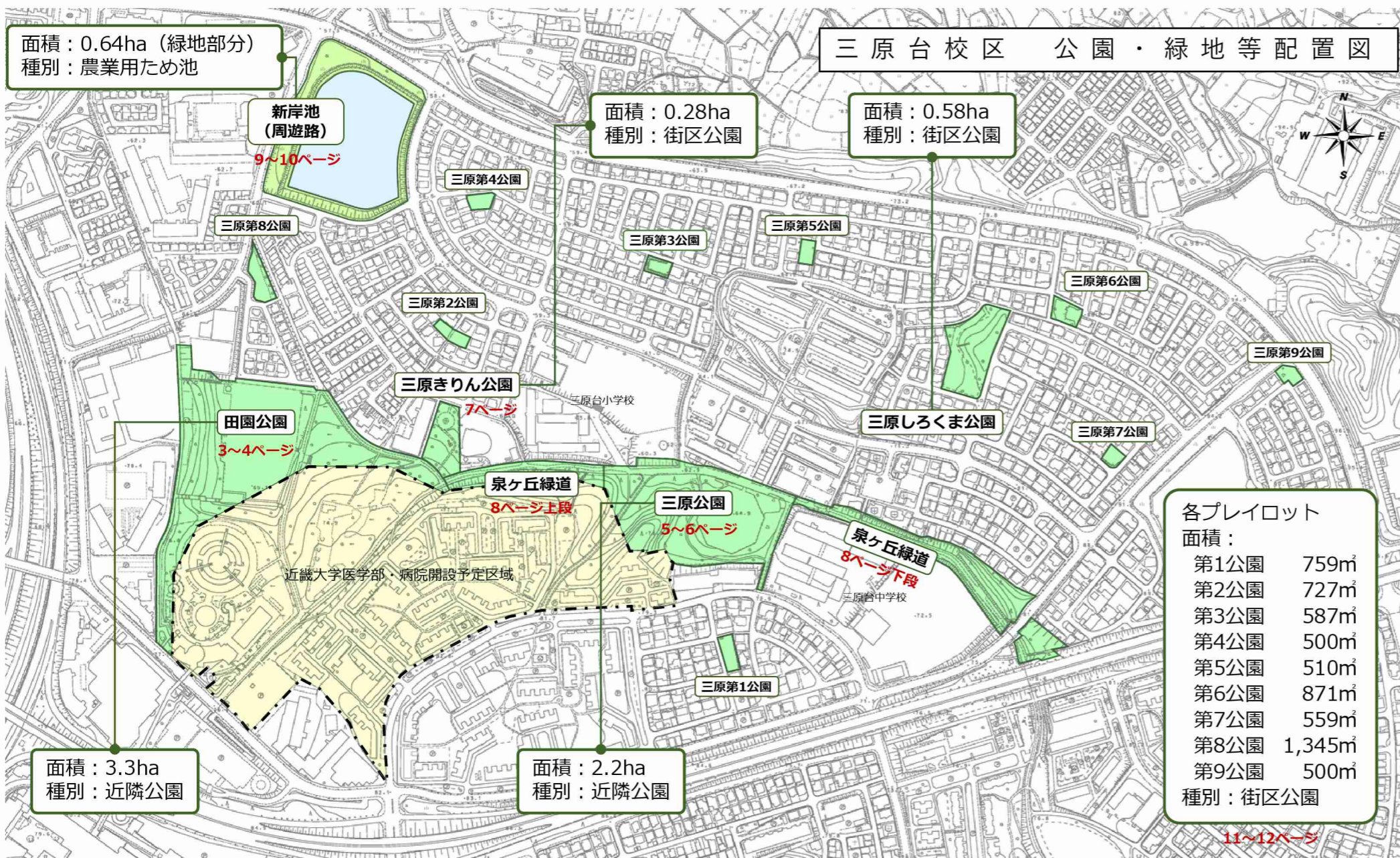
バリアフリー化や  
見通しの良い歩行空間  
災害時に利用できる  
オープンスペース  
防災施設の整備

### 交流・レクリエーション

潤い・安らぎ・癒しの場  
遊び・憩い・集い・交流の空間

### 景観形成

景色を楽しめる樹木配置  
健全な樹木の育成



## 《参考》

### 未来の三原台をつくるワークショップ1

公募で集まった住民により、三原台の理想の暮らしを考え、「あったらいいな」のアイデアの具体化を検討しました。  
この検討結果を、整備プラン案に活かしました。



←参加者で作成した  
未来の三原台の姿案

### ○平成31年4月20日（土） [第1回目]

・普段から生活し、慣れ親しんだ三原台を共有し、三原台に「あったらいいな」を3チームに分かれて、話し合いました。

#### ■番外編～まちあるき～

・三原台を歩いて、それぞれの空間・景観の特徴を確認して、「三原台のすてきスポット」を探しました。  
・三原公園に設置した健康遊具の使い方を体験しました。

### ○令和元年5月19日（日） [第2回目]

・「あったらいいな」のアイデアから、「食」「まちを歩く」「住民同士の共通点による交流」の3つのコンセプトで議論しました。



### ○令和元年6月15日（土） [第3回目]

・「あったらいいな」の項目のうち、実現できそうなアイデアの具体化を考えました。

### 未来の三原台をつくるワークショップ2

### ○令和元年11月～令和2年2月（計3回）

「食」「健康」「家族のつながりを豊かにする」をまちづくりのキーワードに、楽しくなる暮らし方のアイデアを形にすることを考えています。

# 田園公園の整備プラン案

新たな多目的広場や主園路の整備、自由広場の改修を行い、学び・交流の拠点にしていきます。



**改修 自由広場 (グラウンド)** (約7,000㎡)  
 グラウンドの凹凸や排水性の改善、フェンスの改修をします。  
 グラウンドでは、これまで同様に球技 (ソフトボール、軟式野球等) などができます。

**新設 トイレ**  
 公園利用者が使いやすい公園の中央付近に新設します。  
 多目的トイレ (みんなのトイレ) を整備し、ベビーベッド・チェアを設置し、オストメイト対応とします。

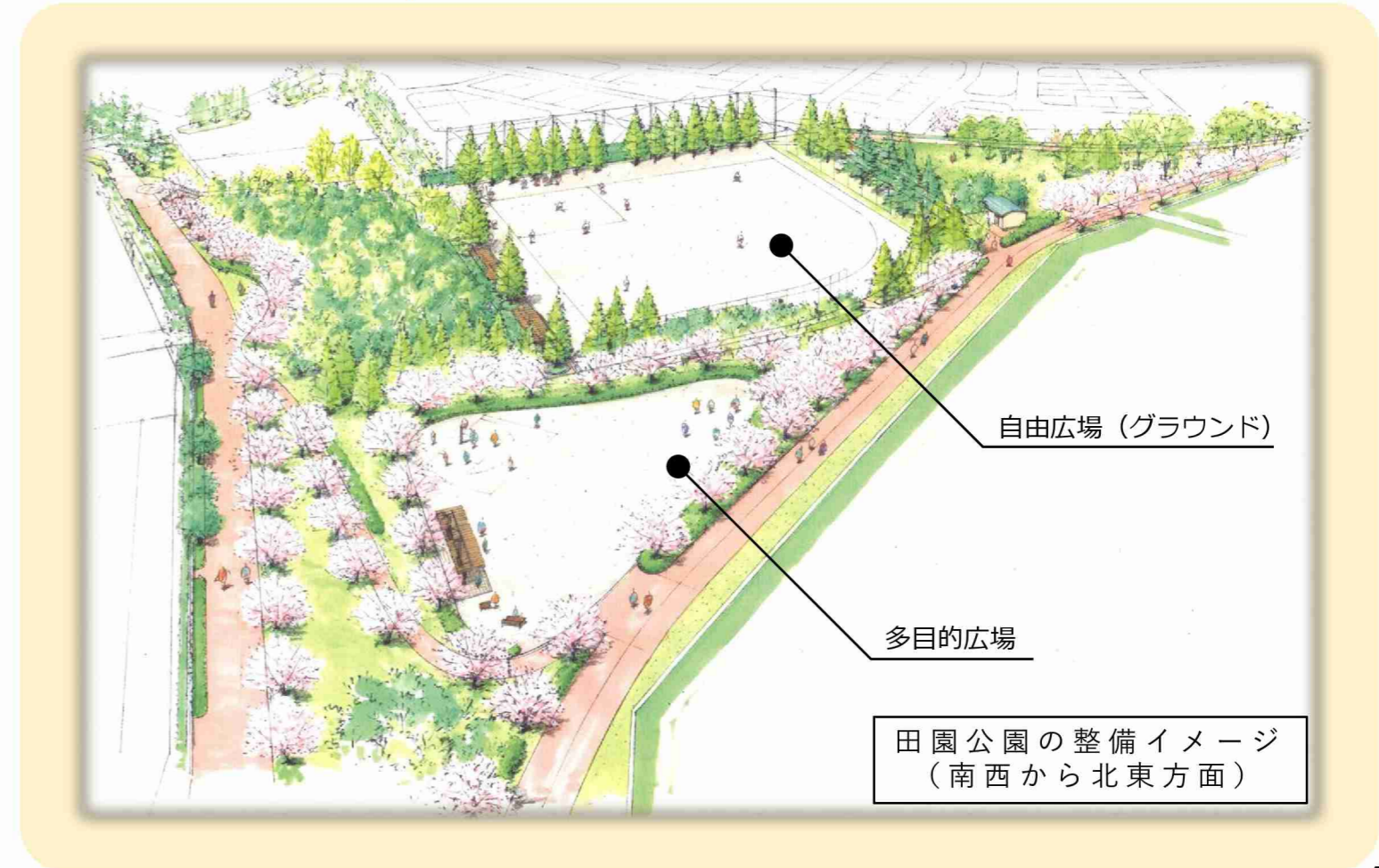
**改修 はらっぱ広場**  
 交流・憩いの広場として近畿大学敷地の「桜広場」と一体的な空間を形成します。  
 健全な状態の樹木を保全し、適宜花木を補植します。

**新設 芝生スタンド** (約120㎡)  
 グラウンド観戦が可能な芝生のスタンドを整備します。

**新設 斜面を活かした広場** (約600㎡)  
 斜面を活かした遊具 (すべり台など) や散策路を整備します。

**新設 多目的広場** (約1,400㎡)  
 多目的に利用できる平坦な広場を整備します。  
 健康遊具やパーゴラ等の休憩施設、手洗い場、バスケットゴール等の運動施設を設置します。

パーゴラ (イメージ)



田園公園の整備イメージ (南西から北東方面)

# 三原公園の整備プラン案

自然地形を活かし、  
施設の機能向上を行います。  
多様な広場を地域活動の  
拠点にしていきます。

## 改修 交流・休憩広場

長ベンチを設置し、木もれ日の中で憩い、  
交流できる空間を整備します。

## 改修 木もれ日広場

坂道の途中に、休憩できるベンチを設置します。  
林の中で遊びや散策ができる空間として活用し  
ます。

改修 **主園路** (舗装幅約6~8m)  
イベント時でも人が行き来できる幅を  
確保します。

## 新設 遊具広場

子ども同士が楽しみながら遊びを創造できる  
遊具を設置します。  
保護者も一緒に楽しみ、見守れるようベンチ  
等の休憩施設を設置します。

## 新設 健康広場

健康づくりのきっかけとなる  
健康遊具を設置します。

## 改修 交流・休憩広場

樹木や地形変化を  
活かした段状の広場を  
整備します。



整備イメージ

## 改修 サークル広場

エントランスとしての結節点を  
印象づける空間として舗装等を  
改修します。

## 改修 サークル広場

近隣センターとの結節点を  
印象づけるデザインにします。

## 新設 ステージ

イベント等に使える空間を  
整備します。

## 改修 木もれ日広場

林の中で遊びや散策ができる  
空間として活用します。

## 改修 みんなの広場 (約4,500㎡)

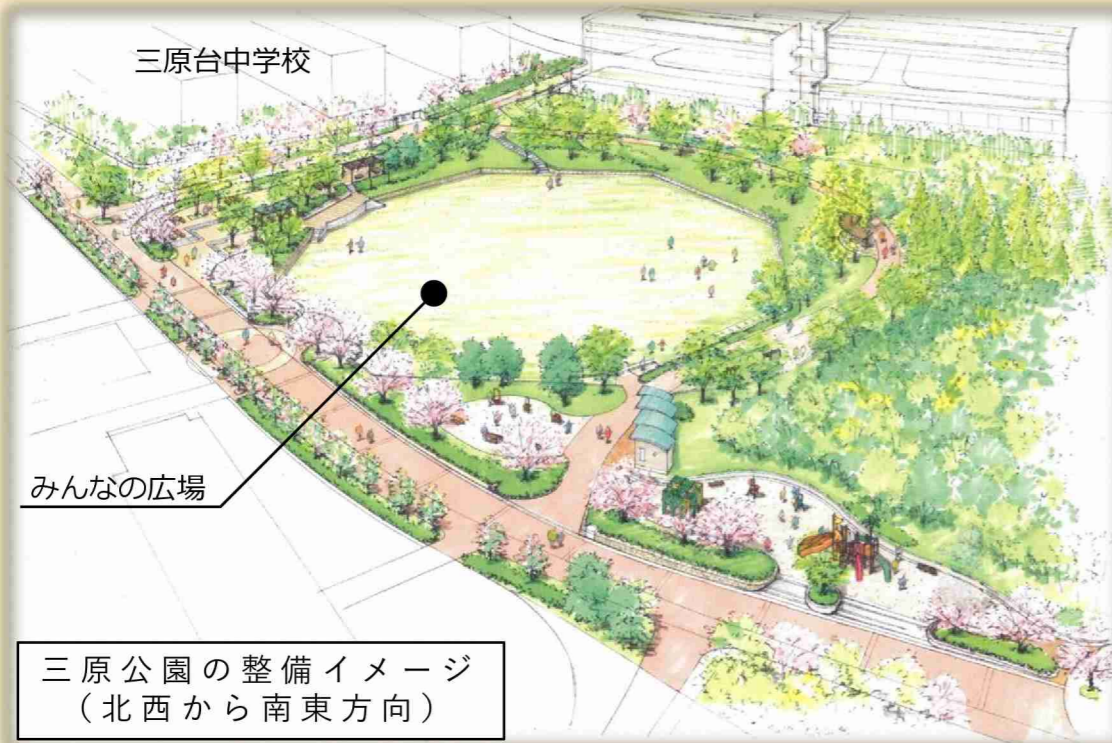
ノシバを生やし、活発な活動ができる広場を  
整備します。

改修 **主園路** (舗装幅約5m)  
幅員を拡幅し、歩行者と自転車  
を分離します。

改修 **サブ園路** (舗装幅約2~3m)  
遊び、健康運動の機能を取り入れます。



舗装面に標示したイメージ例



三原公園の整備イメージ  
(北西から南東方向)

# 三原きりん公園の整備プラン案

子どもたちが楽しく、安全に遊べる空間をつくっていきます。

**新設 幼児遊具 交流休憩広場**  
 スイグ遊具などの幼児遊具を設置します。  
 保護者が休憩しながら、子どもを見守れるようパーゴラやベンチ等休憩施設を設置します。

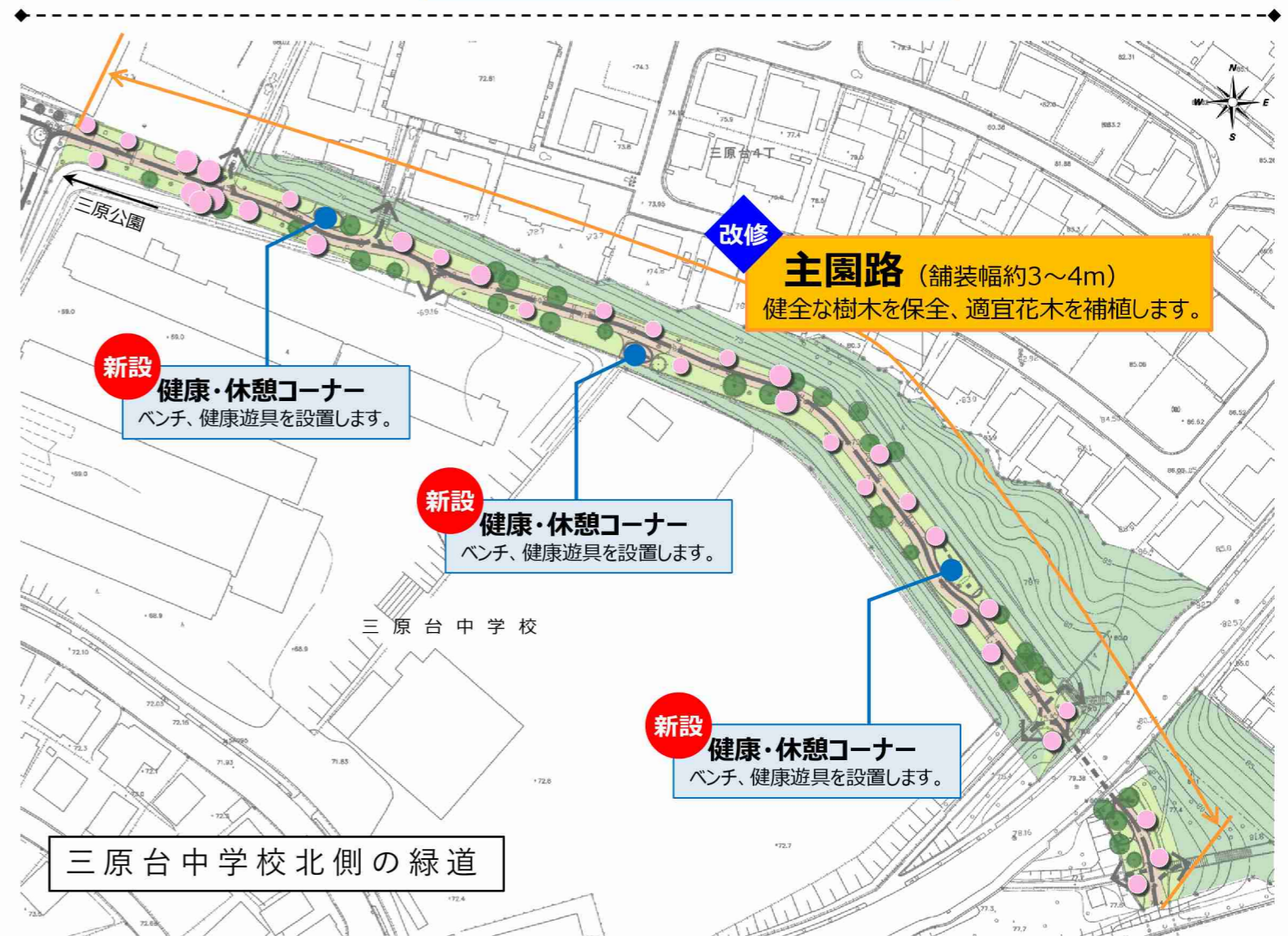
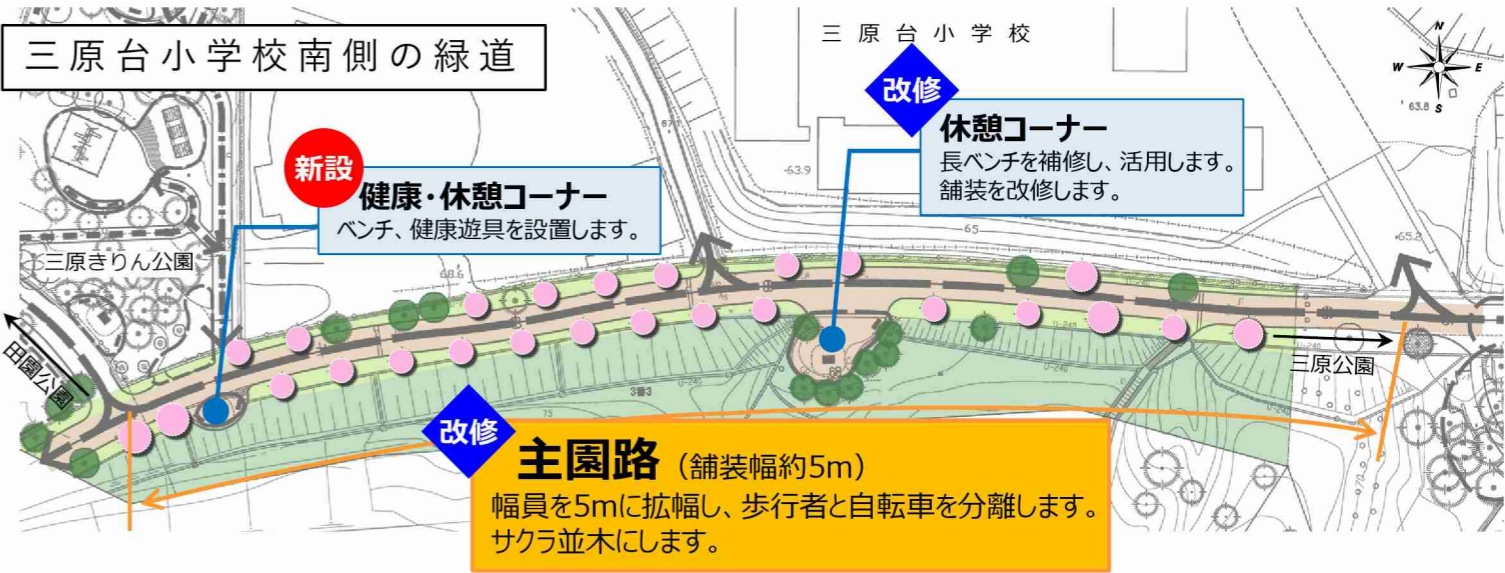
**新設 園路 (舗装幅約3m)**  
 公園内を移動できる園路を整備します。

**新設 健康・休憩コーナー**  
 ベンチ、健康遊具を設置します。

**改修 遊具広場**  
 既存のトンネル遊具を保存・活用します。  
 小さな子どもでも安心して利用できる「おむつ型ブランコ」や、保護者が休憩しながら、子どもを見守れるようベンチを設置します。

# 緑道の整備プラン案

良好な見通しと適度な明るさを確保し、誰もが安心して、ウォーキング等の健康づくりができるスポットをつくっていきます。

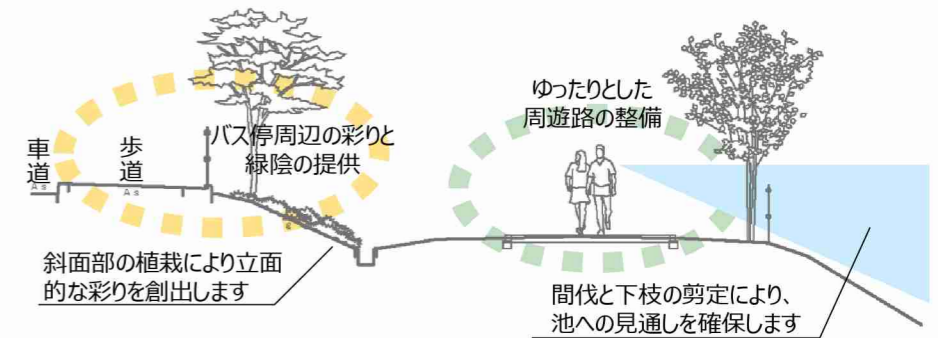


# 新岸池の整備プラン案

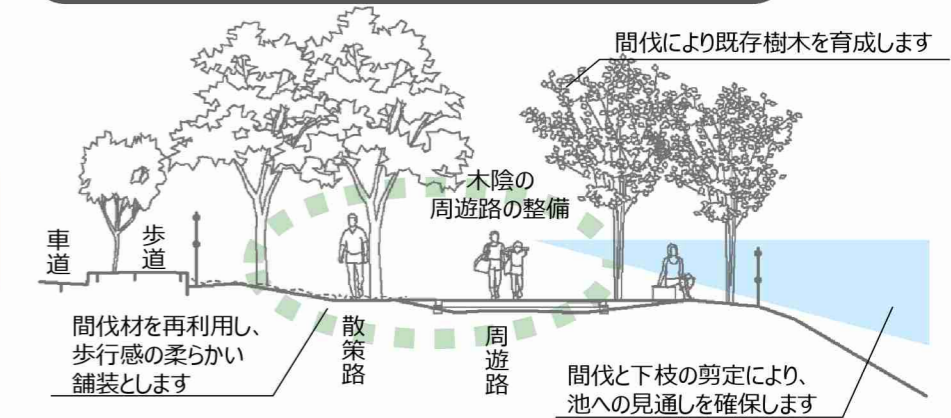
新岸池を巡る周遊路や、緑と水辺の景観を活かした空間を整備します。健康づくりにつながる地域の憩いと集いの場にしていきます。



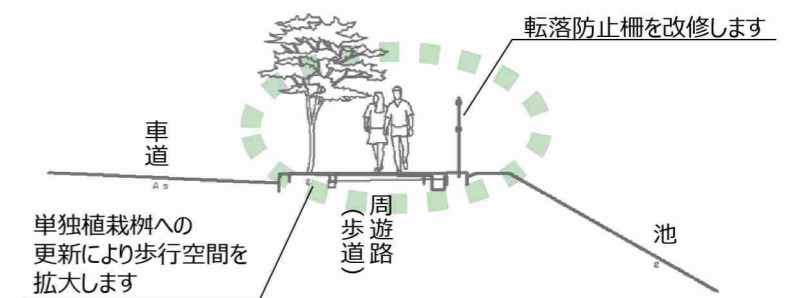
## 空間構成 [断面図①] 西側道路沿い



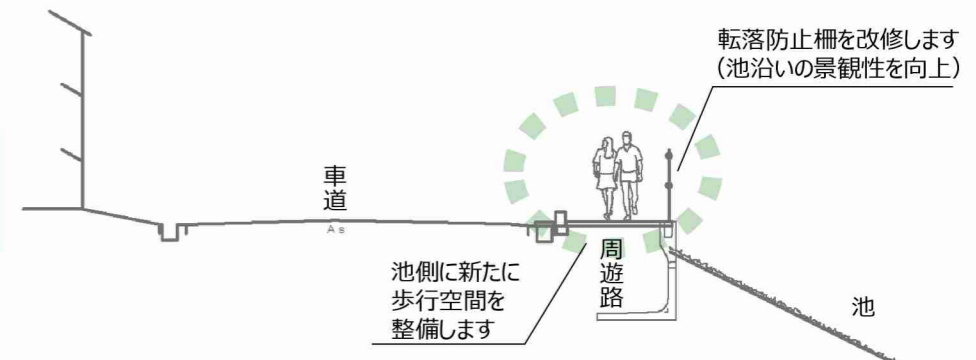
## 空間構成 [断面図②] 堺泉北環状線沿い



## 空間構成 [断面図③] 東側道路沿い



## 空間構成 [断面図④] 南側道路沿い



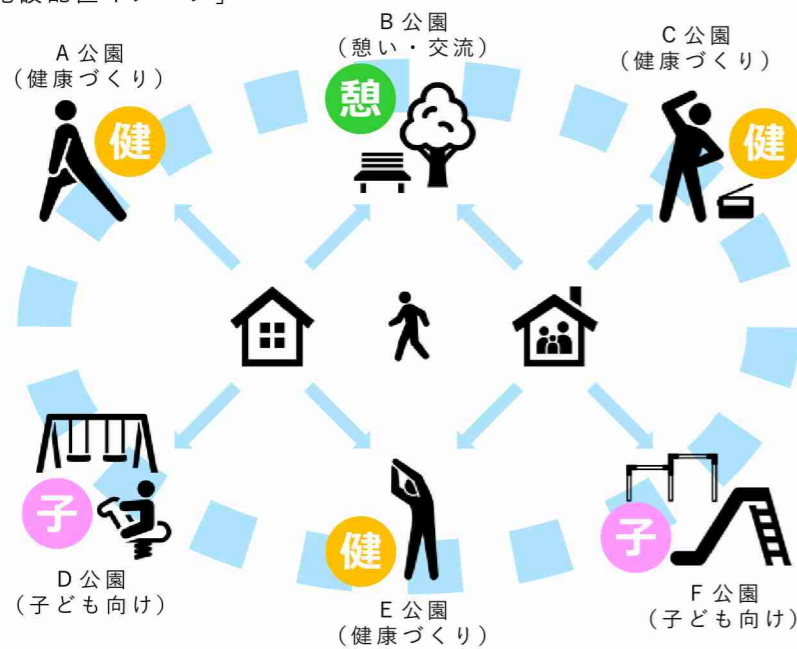
# 身近な公園 (プレイロット) の整備プラン案

対象公園：三原しろくま公園、三原第1～9公園

① 地域の『健康づくり』に活用していただきます  
設置する健康遊具を活用して、各公園を巡るウォーキングコースを設定するなど、地域の「健康づくり」に役立てていただきます。

② 各公園に特色を持たせます  
三原台校区にある身近な公園全体のバランスや各公園の広さを考慮し、適正に遊具を配置します。また、公園毎に遊具に特徴を持たせることで、多くの公園へ来てもらえるよう整備を行います。

[施設配置イメージ]



③ 安心して公園を利用できる環境を整備します  
老朽化した施設を撤去・更新します。  
見通しの悪い樹木や植栽を間伐することで、見通しを良くし、安心して公園を利用できるようにします。



ベンチの更新 (イメージ)



見通しの良い公園 (イメージ)



公園のイメージを明るくし、より多くの方に公園へ来てもらい、公園の賑わいを創出します。

健康遊具例 (イメージ)

※健康遊具の種類や設置場所、ウォーキングコースの設定は、今後検討を進めていきます。



背のばし



腕上げ



ぶら下がり



バランス



ジャンプ

ストレッチ系

アクティブ系

公園遊具配置 (例)

※遊具の写真はイメージです



# 公園施設の活用・整備について

## 公園を活用した『健康づくり』の考え方

居心地よく自然に歩きたくなる公園になれば、楽しみながら健康づくりが続けられるようになります。

校区内の公園には、新たに健康遊具等を設置し、それらを結ぶ複数のウォーキングコースを設定して、実際に身体を動かす機会を増やします。これらの運動を中心とした健康づくりを通じて、健康寿命の延伸をめざします。



健康遊具活用のイメージ



ウォーキング大会のイメージ

### ■ 仕掛け

#### ① 『休憩コーナー』の設置

公園や緑道にベンチ等を設置します。(100～400m程度の間隔)  
空間の特性に応じ、背なし・背あり、縁台型、スツール型、かまど機能付などの多種類のベンチを配置し、休憩の場やコミュニティスペースとします。

#### ② 『健康遊具』の設置

各所コーナーに健康遊具を設置し、ウォーキングやコミュニティスペースでの交流に利用いただきます。

#### ③ 『距離表示』の設置

基準場所からの距離を表示して、自分に合ったウォーキングコースを選択していただけます。

### ■ 仕組み

- ① 近隣の商業施設や集会所、イベントスペース等にも視点を当て、人と人とのつながりを大切にしたウォーキングコースを、住民とともに設定します。
- ② 大学や健康づくり関連企業等とともに、地域の健康づくりに継続的に取り組み、支援します。

【取組例】健康づくりイベントの開催、ウォーキングマップ作成 など

## 公園の施設整備の考え方

### ■ 安全・安心の考え方

- ・ 防犯の視点として、夜間の適切な照度を確保した配置を行います。[LED化(効率・耐久性向上)]
- ・ 見通しの悪い樹木や植栽を間伐することで、見通しを良くします。
- ・ 歩行者動線である緑道は、バリアフリー化や照明灯の照度確保などを行い、安全・安心に利用できる歩行空間として整備します。



照明灯LED化イメージ

### ■ 樹木の考え方

- ・ 樹形や樹勢が良い健全な樹木は保全を基本とします。(安全・安心の観点から必要に応じて、間伐や更新を行います。)
- ・ 特に緑道については、園路ごとに特色を持たせ、開花時期の移ろいなどを感じられるような樹種を植えます。  
例) サクラは、ソメイヨシノをはじめカンヒザクラ、ヤマザクラ、ヤエザクラなどの複数の樹種を配植。  
低木は、四季を感じられるようヒラドツツジやユキヤナギ、クチナシ等を連続・点在で配植。

## 公園・緑地等の整備スケジュール(予定)

